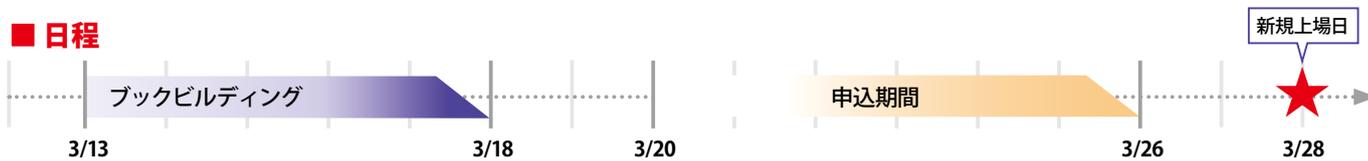


# IPO銘柄 エスクロー・エージェンツ・ジャパン (6093・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6093	100 株	公募: 8.0 万株 売出: 8.0 万株 (OA2.4 万株)	2,600 円 ~ 2,700 円 (5.6 倍)	大和証券

## ■ 日程



## 不動産取引関係業者などにサポートサービスを提供

### ■ 事業内容

金融取引、不動産取引関係業者向けのサポートサービスが主力。金融機関や司法書士、不動産、建設業者などを対象に業務の合理化、効率化、信頼性を向上させるための各種サービスを提供している。マザーズエスクロー（旧アイディーユー総合事務所）を08年1月に吸収合併。エスクローサービス事業では、不動産取引関係者に対してシステム提供・保守・管理サービスをはじめ、建物・引渡しサポートサービス、エスクロー口座の提供などを行う。一方のBPO事業では、各種事務処理代行や業務受託を中心に、物件調査や金銭消費貸借契約書の締結事務支援などを行う。14年2月期第3四半期累計（13年3月～11月）の売上高構成比はエスクローサービス事業が49.7%、のBPO事業が50.3%。

### ■ 特徴

エスクローサービス事業では、行政書士を中心に遠隔地での対応や大量の事務処理を適切かつ迅速に処理するためのシステム、オンライン登記に対応できるシステムを提供。提供するシステムにはASP（ソフト期間貸し）形態でWebテレビ会議システムや抹消登記進ちょく管理システム、登記書類作成システムなどがある。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

14年2月期の非連結経常利益は前期比3.4%増の3億900万円となったもよう。前期に「フラット35」を提供する住宅金融支援機構の名称変更に伴う抵当権移転登記手続きで、大量の登記案件が発生した反動で利益成長率が鈍る見込み。新サービス「業務継続DATA復旧サービス」は好調。

### ■ 定性分析

好況の不動産取引に関連するビジネスを手掛けていることから、成長期待は大きい。ただ、ニッチ分野に絞ったユニークなビジネスモデルではあるが、あくまでアウトソーシングビジネス。特殊要因で業績の成長率が鈍る見込みであることもネガティブな材料か。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は5億円弱。新興市場への上場でも小型の案件となる。ベンチャーキャピタル保有株は少なく、ロックアップ条項も付されているため、需給妙味が非常に大きな案件となっている。上場初日は大きな需給ギャップが生まれそうだ。  
(小泉健太)

### ■ 類似企業

エスクロー・エージェンツ・ジャパン (6093・JASDAQ)	予想PER5.6倍 (仮条件上限)
いい生活 (3796・マザーズ)	予想PER—
リロ・ホールディング (8876・東証1部)	予想PER16.9倍

### ■ 引受証券

大和証券、SBI証券、東海東京証券、むさし証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年2月期(実績)	1,128	▲ 3.3	184	25.6	116	▲ 22.8	316.2	—
13年2月期(実績)	1,169	3.6	299	62.5	173	49.1	468.2	—
14年2月期(会社予想)	1,267	8.3	309	3.4	192	11.0	485.4	75.0

※ 14年1月に株式分割(1株→100株)を実施。12年2月期、13年2月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年2月期	4,300	728	598	100	1,547.0	78.6	22.8
13年2月期	4,300	1,025	771	100	2,015.2	72.7	26.3

※ 12年2月期および13年2月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	中央グループホールディングス	242,000	30.20
2	本間 英明	228,000	28.45
3	エスクロー・エージェント・ジャパン	60,000	7.49
4	本間 大貴	50,000	6.24
4	TSインベスター	50,000	6.24
4	ケーシー・プラン	50,000	6.24
7	久保内 隆	23,000	2.87
8	りそなキャピタル2号投資事業組合	20,000	2.50
9	千原 啓子	10,000	1.25
9	千原 一成	10,000	1.25
9	廣島 利邦	10,000	1.25

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	本間 英明
専務取締役 管理本部長	久保内 隆
取締役 システム業務本部長	漆原 達弥
常勤監査役	森 兼吉
監査役	本井 文夫
監査役	山本 隆

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会